



株主の皆さまへ

第137期中間事業報告書

自 平成16年4月1日
至 平成16年9月30日


エンシュウ株式会社

Message

ごあいさつ



代表取締役社長

寺田一彦

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当上半期のわが国経済は、企業業績の回復、輸出や設備投資の増加等により着実な回復がなされ、個人消費にも一部明るさが見えてまいりましたが、一方では、原油、原材料等の価格高騰も懸念され先行き不透明感も出てまいりました。

このような情勢の中で、当社の売上高は、機器事業部門の増加により全体としては増収となりました。利益につきましては、経常利益ベースでは微増となりましたが、最終利益段階では、前期において厚生年金基金代行部分返上による一時的な特別損失が発生したこともあり、大幅増益となりました。

当社は、昨年4月よりスタートいたしました3ヵ年経営計画の中で“モノづくり”の原点に戻り徹底した改革を図ることをテーマに掲げ、全社一丸となって取り組んでおります。コスト削減、納期遵守、品質向上の強化はもちろんのこと、環境対策、安全、人材育成という課題にも十分な方策を



講じていくことが重要であると考えております。

これらのテーマにつきましては、お客様満足度の向上を第一に考え、お客様から信頼していただける製品づくりに全社のもてる力を結集し実行してまいりたいと思っております。

一方、中長期的観点からは、既存の事業に加え、他企業とのアライアンスや地元企業、大学との共同研究による新しい分野への取り組みを進めておりますが、特に光関連事業につきましては、平成16年6月末より担当部署を「光関連事業部」に昇格させ推進と強化を図っております。

また、当社のコアとなる技術・技能の伝承を目的として、平成16年4月にキャリアセンターを設立し、当社の強みの基となる技術、技能の蓄積と発展を図っております。

株主の皆様におかれましては、今後とも今まで以上のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、第137期の中間配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、その実施を見送らせて頂くことといたしました。

平成16年12月



平成16年4月1日から平成16年9月30日に至る当社第137期上半期の営業の概況をご報告申し上げます。

工作機械事業部門

当上半期の工作機械業界の受注は、デジタル家電関連に加え一般機械業界向けも需要が拡大し、内需、外需とも前年に比べ大幅に増加いたしました。また、当社の主要顧客である自動車業界の設備投資も好調に推移いたしました。

そのような状況の中で、当社の強みであるシステム機械を柱とした積極的な営業活動を展開し、国内においては自動車業界を中心として、また、海外においては販売子会社を核として、拡販に努めてまいりました。

その結果、受注は前期を大幅に上回ることが出来ましたが、売上につきましては、主要部材の納入遅れの影響で出荷が遅



ライン対応
横形マシニングセンタJE30G

れ、前期に比べ減少いたしました。それにより収益面につきましても厳しい結果となりました。

技術、製造部門におきましては、コンカレントエンジニアリングを核にプロジェクト別活動の充実とレベルアップにより、両部門が一体となったモノづくりの強化（品質向上、納期遵守、コスト削減）を図り、システム機械の競争力アップ、収益力の向上に励んでまいりました。新機種といたしましては、システム機械の母機となる低価格立形マシニングセンタ（EV360）、ライン対応横形マシニングセンタ（JE30G）、超高速・高精度ハイブリッドリニア横形マシニングセンタ（LE50）の3機種を開発し、JIMTOF（日本国際工作機械見本市）に出品いたしました。今後は、システム機械トータルのコストダウンを図るため、母機のみならず周辺装置の開発も進めてまいります。



FTLケースカバー 加工ライン



FMSハウジング 加工ライン

光関連事業部門

光関連事業部では、光技術をコアとして浜松ホトニクス株式会社との連携、協業を推進してまいりました。とりわけ高出力半導体レーザー溶接システム（L1）につきましては、当上半期に国内初となる出力4KWの1号機を納入することが出来ました。さらに来春には、出力6KWの製品化も進めてまいります。また、半導体レーザーを使用したプラスチック溶着システム（LPJ）も商品化いたしました。営業体制を一段と強化すると共に、OEM製品の生産も軌道に乗せ収益化を進めてまいります。

今後につきましては、より顧客満足を実現する提案力を強化し、また、低価格、高信頼性、短納期等の顧客ニーズに合った製品を提供し、さらなる受注拡大を図ってまいります。



高出力
半導体レーザー溶接システムL1

機器事業部門

当上半期は、バギー車用エンジン部品及び二輪車用エンジン部品の生産増加により、売上高は前期に比べ大幅に増加いたしました。収益面につきましても、売上増加とTPM活動をベースとした工場改善による原価低減の結果、大幅増益となりました。



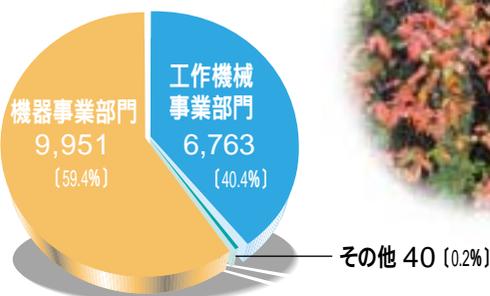
ケース加工ライン

今後は、海外自製化による仕事量の減少や競合のグローバル化によるコスト競争の激化が予想され、環境は厳しさを増してくるものと思われます。営業力強化による新製品の取入れを拡大させると共に、TPM活動を基軸に一層の工場改善を推進し原価低減の向上に努めてまいります。

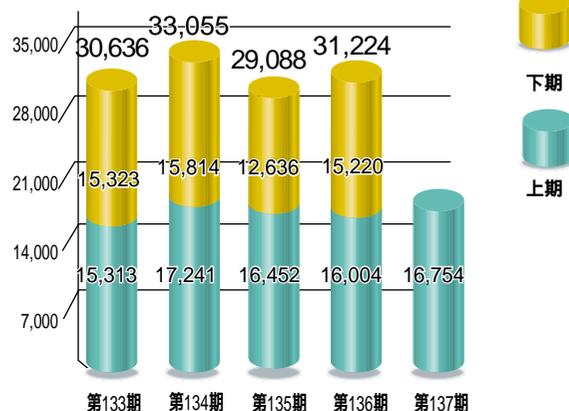


Sales Volume

部門別売上高(百万円)



売上高の推移(百万円)



Balance Sheet

中間貸借対照表の要約(百万円) 平成16年9月30日現在

資産の部		金額
科目		
流動資産		22,712
現金及び預金		1,413
受取手形		593
売掛金		10,562
棚卸資産		9,420
その他の貸倒引当金		762
		△ 40
固定資産		14,385
有形固定資産		12,882
建物及び構築物		1,958
機械装置		4,345
土地		5,919
その他		658
無形固定資産		30
投資等		1,472
投資有価証券		108
子会社株式		301
その他の貸倒引当金		1,080
		△ 17
資産合計		37,097

注) 1.有形固定資産の減価償却累計額 22,635百万円
 2.受取手形割引高 1,290百万円
 3.保証債務 165百万円

負債の部		金額
科目		
流動負債		20,401
支払手形		2,222
買掛金		5,533
短期借入金		10,646
未払金、未払法人税等		1,057
その他		942
固定負債		10,803
長期借入金		6,082
土地再評価に係る繰延税金負債		2,141
退職給付引当金		2,222
その他		357
負債合計		31,205
資本の部		
資本金		2,390
資本剰余金		803
利益剰余金		△ 549
中間未処理損失		549
土地再評価差額金		3,252
その他有価証券評価差額金		5
自己株式		△ 10
資本合計		5,892
負債及び資本合計		37,097

Company Profile 会社の概要

商 号 エンシュウ株式会社 (英文 ENSHU Limited)
 設 立 大正9年2月5日
 資 本 金 23億 9,085万円
 会社が発行する株式の総数 150,000,000株
 発行済株式総数 47,817,000株
 生 産 品 目 工作機械、発動機および関連機器



中間損益計算書の要約(百万円) 自平成16年4月1日 至平成16年9月30日

科 目	金 額
売 上 高	16,754
売 上 原 価	15,354
販売費及び一般管理費	1,049
営 業 利 益	350
営 業 外 収 益	170
営 業 外 費 用	216
経 常 利 益	304
特 別 利 益	0
特 別 損 失	29
税引前中間純利益	275
法人税、住民税及び事業税	156
法人税等調整額	26
中 間 純 利 益	145
中間未処理損失	549

Business Establishment 事業所



本 社 及 び 工 場 〒432-8522 静岡県浜松市高塚町4888 電話 053-447-2111(代)

浜 北 工 場 〒434-0016 静岡県浜北市根堅788 電話 053-588-0211(代)

営 業 部 ・ 支 店

営 業 部 〒434-0016 静岡県浜北市根堅788 電話 053-588-2671(代)

東 京 支 店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15(スターハイツ)
電話 03-5479-1671(代)

大 阪 支 店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43(ファサード江坂ビル)
電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション / 高崎・金沢・広島

海 外 現 地 法 人 ENSHU(USA) CORPORATION (シカゴ)
 ENSHU GmbH (フランクフルト郊外)
 ENSHU (Thailand) Limited (バンコク)

平成16年9月30日現在

代表取締役社長	寺田一彦
常務取締役	加茂只文
常務取締役	中安茂夫
常務取締役	千賀伸一
取締役	安田俊二
取締役	横山晴臣
取締役	中村泰之
取締役	小木国典
取締役	中山義人
常勤監査役	松山美廣
監査役	石塚尚
監査役	鈴木芳男
監査役	土屋裕

■取締役中山義人氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。

■監査役石塚尚氏、鈴木芳男氏、土屋裕氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。



決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月 なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主となります。
基準日	中間配当金受領株主の確定、その他必要な場合は、あらかじめ公告して基準日を設定します。
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5213-5213(代表)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
1単元の株式の数	1,000株
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
決算公告のホームページのご案内	ホームページにて当会社の財務内容をご覧いただけます。 《 http://www.enshu.co.jp/kessan/ 》
株式の上場	東京、名古屋 両証券取引所市場第一部

シカゴショー2004
《IMTS2004》



世界三大国際工作機械見本市のひとつ「シカゴショー2004」が9月8日から15日まで米国シカゴのマコーミックプレイスで開催され、世界40か国から1,400社が出展しました。当社からは横形マシニングセンタ J E 80 S、J E 50 S、J E 30 S、超高速ハイブリッドリニア横形マシニングセンタ L E 70、高出力半導体レーザー溶接システム L 1 の5機種、5台を出品し、来場者の好評を得ました。



横形マシニングセンタ JE80S

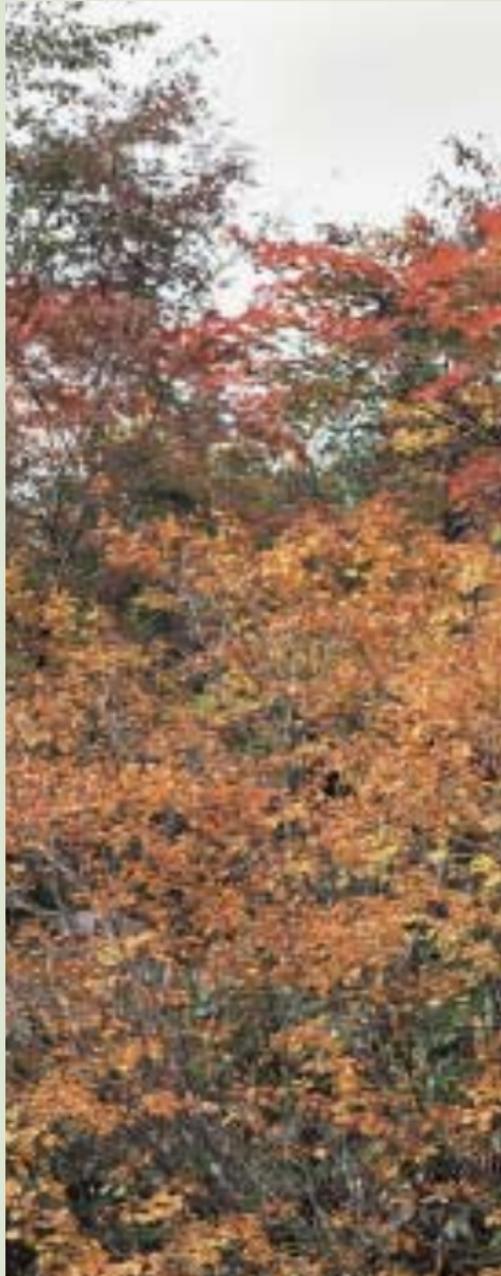


超高速ハイブリッドリニア
横形マシニングセンタ LE70



横形マシニングセンタ
JE30S





エンシュウ株式会社

インターネット上にホームページを開設しております。
エンシュウ株式会社 [http:// www.enshu.co.jp/](http://www.enshu.co.jp/)
ENSHU(USA) CORPORATION www.enshuusa.com